

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力のお願～

【ご協力のお願】

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子どもの主体性を尊重し、子どもと大人と一緒に地域づくりを進めるとともに、様々な活動を通して、次世代の親を育むため、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

この度、新たに平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が可決・成立し、公布されました。この 3 法に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度（次頁参照）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度にスタートする予定）。

本市においても、この法律にもとづく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありませんが、今後の本市の子ども・子育て支援事業計画を策定するため、是非ご協力をお願いします。

この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの 0 歳から 5 歳までの就学前の子どものいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた方です。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはございません。全ての質問にありのままお答えください。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年●月

清須市

- ご回答は、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
●月●日（●）までにご返送ください。（切手は不要です。）
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合わせ】清須市健康福祉部子育て支援課 電話：052-400-2911

新たな子ども・子育て支援の制度（子ども・子育て支援新制度）の目的

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

用語の定義

- 幼稚園** : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所（園）** : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園** : 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て** : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育** : 問16までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問17以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
- 保育** : 幼児の心身の正常な発育を目的として、幼稚園・保育所・託児所などで行われる養護を含んだ教育作用として用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 西枇杷島小学校 | 2. 古城小学校 | 3. 清洲小学校 |
| 4. 清洲東小学校 | 5. 新川小学校 | 6. 星の宮小学校 |
| 7. 桃栄小学校 | 8. 春日小学校 | 9. わからない |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

平成()年()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月月 平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 保育所 |
| 6. 公立幼稚園 | 7. 私立幼稚園 | 8. 認定こども園 | 9. その他() | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 保育所 |
| 4. 公立幼稚園 | 5. 私立幼稚園 | 6. 認定こども園 |
| 7. その他() | | |

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 【問 9-1 へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 【問 9-2 へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ---▶ 【問 10 へ】 | |

問 9-1 問 9 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () ---▶ 【問 10 へ】 |

問 9-2 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. いる／ある ---▶ 【問 10-1 へ】 |
| 2. いない／ない ---▶ 【問 11 へ】 |

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター、児童館等 |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 () | |

- (1) - 2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 () 時	帰宅時刻 () 時
--------------	------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	【(2)-1~】 【問16~】
--	--

- (2) - 1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

- (2) - 2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時	帰宅時刻 () 時
--------------	------------

問15 問14の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問 16 問 14 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)

イ. パートタイム, アルバイト等 (「ア」以外)

→1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)

イ. パートタイム, アルバイト等 (「ア」以外)

→1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、保育園、公立幼稚園、私立幼稚園及びその他の施設（認可外保育施設）などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |

(2) 日曜・祝日

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |

問 22-1 「保育園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 22-2 「公立幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 22-3 「私立幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 22-4 「その他の施設（認可外保育所など）」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯
()時から ()時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |
| 4. 具体的にその他の施設とは、何ですか。----▶ () | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問17で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問24にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. あった ----▶ 【問23-1へ】 | 2. なかった ----▶ 【問24へ】 |
|-----------------------|----------------------|

問 23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
ア 父親が休んだ	()日
イ 母親が休んだ	()日
ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	()日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
オ 病児・病後児の保育を利用した	()日
カ ベビーシッターを利用した	()日
キ ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーター(タイム・えぷろん)を利用した	()日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
ケ その他()	()日

【問23-5へ】

問 23-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | |
|--|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日 ----▶ 【問23-3へ】 |
| 2. 利用したいとは思わない ----▶ 【問23-4へ】 |

問 23-3 問23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われま

すか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 23-4 問 23-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問 23-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日 ---▶ 【問 24 へ】
2. 休んで看ることは非常に難しい ---▶ 【問 23-6 へ】

問 23-6 問 23-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	() 日
2. 公立幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	() 日
3. 私立幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	() 日
4. ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーター（タイム・えぷろん）	() 日
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	() 日
6. ベビーシッター	() 日
7. その他（ ）	() 日
8. 利用していない	

▶ 【問 24-1】

問 24 で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
9. その他（	）

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
ウ 不定期の就労	()日
エ その他（	）日
2. 利用する必要はない ---▶ 問 26 へ	()日

問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった-----▶【問 26-1へ】	()泊
	イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	()泊
	ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	カ その他（	）()泊
2. なかった		

問 26で「1. あった ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

宛名のお子さんが小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。
※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- | | |
|--|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 児童館（自由来館）※1 | 週（ ）日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 ※2 | 週（ ）日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ※3 | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター、
民間保育サポーター（タイム・えびろん） | 週（ ）日くらい |
| 8. その他（公園など） | 週（ ）日くらい |

＜用語の定義＞

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」とは…

児童の安全で安心な居場所づくりを推進し、小学校の余裕教室などを活用し、児童の学習、スポーツ、文化活動等を行う場所及び機会を提供する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、市内の8小学校のうち4小学校（西枇杷島、新川、清洲、春日）で実施し、小学1年から3年生までの小学生が利用できます。（登録負担金：500円/年、開設日：学校給食のある日、時間：午後5時まで）

※3 「放課後児童クラブ」とは…

保護者が就労等により昼間家庭にいない等の児童を対象として、その放課後の時間帯において、家庭に代わる生活の場を与え、適切な遊びを提供することで児童の健全育成を図ります。市内の8小学校区全てで実施し、小学1年から3年生までの小学生が利用できます。（利用料：2,500円/月〈延長料金100円/日〉、休業日：日・祝日・年末年始、時間：午後7時まで）

問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

- | | |
|--|----------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 児童館（自由来館） | 週（ ）日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週（ ）日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ | 週（ ）日くらい |
| 7. ファミリー・サポート・センター、
民間保育サポーター（タイム・えびろん） | 週（ ）日くらい |
| 8. その他（公園など） | 週（ ）日くらい |

(2) 父親

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した | |

問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

(2) 父親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

問 29-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

問 29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内で数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () ヶ月

(2) 父親

() 歳 () ヶ月

問 29-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 29-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (|) |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 (|) |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 (|) |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 (|) |

問 29-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 29-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 29-7 で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 29-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

問 29-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 29-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

問 33 私立幼稚園などでは、特に幼児教育を進んで行っていますが、どんな教育を望まれますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 英会話教室 | 2. スイミング教室 |
| 3. ピアノ教室 | 4. リトミック教室 |
| 5. 体操教室 | 6. 書き方・習字教室 |
| 7. 学習塾 | 8. 絵画教室 |
| 9. その他 () | |

問 34 横浜市が、待機児童ゼロを目標にして、平成 22 年から 3 年間で達成しています。横浜市の対策は、①民間企業の参入を促進 ②市独自の基準を満たす認可外施設「横浜保育室」の積極活用 ③市役所内にニーズに応じた保育施設の紹介を行う専門相談員「保育コンシェルジュ」の導入などで取り組んでいます。本市でもこのような取り組みを希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

	希望しない	←	どちらでもない	→	希望する				
①民間企業の参入を促進	1		2		3		4		5
	希望しない	←	どちらでもない	→	希望する				
②認可外施設 保育室の積極活用	1		2		3		4		5
	希望しない	←	どちらでもない	→	希望する				
③「保育コンシェルジュ」 の導入	1		2		3		4		5

問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。